

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6358 URL <https://www.sakainet.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,098	△5.7	701	△29.3	635	△26.3	396	△17.3
2019年3月期第2四半期	12,833	△4.7	991	△26.9	862	△30.5	479	△40.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 177百万円 (△57.6%) 2019年3月期第2四半期 418百万円 (△63.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	92.85	—
2019年3月期第2四半期	112.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	35,038	22,314	63.6
2019年3月期	35,402	22,285	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 22,272百万円 2019年3月期 22,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△5.1	1,050	△25.8	850	△29.2	550	△33.3	128.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2019年11月8日）公表致しました「2020年3月期 第2四半期累計期間における連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,311,917株	2019年3月期	4,287,517株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	25,078株	2019年3月期	24,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,269,472株	2019年3月期2Q	4,254,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年12月6日（金）に決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 連結地域区分別売上高表

区 分	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	7,360	60.8	5,151	40.1	2,208	42.9
海 外	4,737	39.2	7,681	59.9	△2,944	△38.3
北 米	2,204	18.2	2,426	18.9	△222	△9.2
アジア	2,229	18.4	4,604	35.9	△2,375	△51.6
中近東・ロシアCIS	43	0.4	98	0.8	△54	△55.5
その他	260	2.2	551	4.3	△291	△52.8
合 計	12,098	100.0	12,833	100.0	△735	△5.7

当第2四半期連結期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、国内経済が堅調に推移したものの、米中貿易摩擦の長期化に伴う世界経済の減速が進むと共に、米中冷戦構造を軸とした地政学情勢の緊迫化、テクノロジー革命に伴う産業構造変化の急進など、世界の政治、経済、技術情勢が大きく変化する中で推移しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、市場変化への対応を進めると共に、新たな事業環境における成長基盤づくりに注力して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内販売が好調に推移したものの海外販売が大きく落ち込み、前年同期比5.7%減の120億9千万円となりました。

利益面では、売上高の減少の結果、営業利益は前年同期比29.3%減の7億円、経常利益は同26.3%減の6億3千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同17.3%減の3億9千万円となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、排ガス規制特需の反動減が解消すると共に、道路維持補修機械の販売が好調に推移し、前年同期比42.9%増の73億6千万円となりました。

海外向け売上高は、アジア・新興国向け販売が大幅に落ち込み、前年同期比38.3%減の47億3千万円となりました。

北米向け売上高は、建設投資が堅調に推移しているものの需要がピークアウトし、前年同期比9.2%減の22億円となりました。

アジア向け売上高は、インドネシア、タイなど主要市場において経済情勢悪化と選挙の影響で需要が停滞し、同51.6%減の22億2千万円となりました。

中近東・ロシアCIS向け売上高は、不安定な地域情勢が続く中で販売停滞が続き、同55.5%減の4千万円となりました。

その他市場向け売上高は、オセアニア、中南米、アフリカともに、不安定な経済情勢の中で販売が振るわず、同52.8%減の2億6千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 10,148	百万円 9,988	百万円 160	% 1.6
	営業利益	488	111	377	337.8
米 国	総売上高	2,220	2,475	△254	△10.3
	営業利益	62	220	△158	△71.8
インドネシア	総売上高	1,712	4,003	△2,290	△57.2
	営業利益	91	612	△520	△85.0
中 国	総売上高	570	901	△330	△36.7
	営業利益	24	4	19	436.2
調 整 額	総売上高	△2,554	△4,534	1,980	—
	営業利益	34	43	△8	—
連 結	総売上高	12,098	12,833	△735	△5.7
	営業利益	701	991	△290	△29.3

#### 日本

国内販売が好調に推移した結果、総売上高は前年同期比1.6%増の101億4千万円、営業利益は同4.4倍の4億8千万円となりました。

#### 海外

米国では、需要が調整局面に入中、総売上高は前年同期比10.3%減の22億2千万円、営業利益は中国工場から米国工場への生産移管に伴う原価上昇の結果、同71.8%減の6千万円となりました。

インドネシアでは、国内及び第三国向け販売が共に停滞し、総売上高は前年同期比57.2%減の17億1千万円、営業利益は同85.0%減の9千万円となりました。

中国では、北米輸出を縮小させる一方で国内販売を拡大させた結果、総売上高は前年同期比36.7%減の5億7千万円ながら、営業利益は同5.4倍の2千万円となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ3億6千万円減少し、350億3千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が12億6千万円増加し、受取手形及び売掛金が1億9千万円減少、たな卸資産が8億3千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億1千万円減少し、230億8千万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が1億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億4千万円減少し、119億5千万円となりました。

流動負債につきましては、未払法人税等が2億1千万円増加し、支払手形及び買掛金が3億7千万円減少、短期借入金が9千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億1千万円減少し、105億9千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が2千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7千万円減少し、21億3千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が1億8千万円増加し、為替換算調整勘定が1億6千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2千万円増加し、223億1千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加し、63.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後国内では、総額7兆円の国土強靱化計画に加え、度重なる自然災害に対して防災インフラ整備が強化される見通しですので、政府建設投資の底上げによる底堅い事業環境が続くものと予想されます。

海外では、世界経済の減速が進む一方で、欧米や中国において金融緩和とインフラ投資による景気刺激策が動き始め、東南アジア諸国でもまだら模様ながら経済情勢に底入れの兆しが見えて参りましたので、当面は一進一退を繰り返しつつ徐々に回復に向かうものと期待しています。

このような見通しにおいて当企業グループでは、変化を大前提とした事業経営と、海外事業と次世代事業による中長期成長戦略を基本とし、需要変化対応力の強化、米中対立に伴う米国事業と中国事業の収益構造改革、新技術活用による次世代事業の開発、組織能力のバージョンアップ投資など、変化対応と成長戦略を積極的に推進し、新たな事業環境における成長基盤を固めて参ります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,282,830	5,547,070
受取手形及び売掛金	7,907,766	7,711,351
商品及び製品	4,500,076	4,805,592
仕掛品	1,832,262	1,333,522
原材料及び貯蔵品	3,570,391	2,929,390
その他	1,241,981	792,720
貸倒引当金	△33,913	△37,489
流動資産合計	23,301,394	23,082,159
固定資産		
有形固定資産	6,433,764	6,406,980
無形固定資産	644,545	643,848
投資その他の資産		
投資有価証券	3,331,735	3,225,043
その他	1,691,524	1,680,802
投資その他の資産合計	5,023,260	4,905,846
固定資産合計	12,101,570	11,956,674
資産合計	35,402,964	35,038,834
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,922,344	4,550,835
短期借入金	4,344,125	4,250,708
未払法人税等	67,435	281,312
引当金	169,622	171,272
その他	1,406,560	1,338,913
流動負債合計	10,910,088	10,593,041
固定負債		
長期借入金	1,262,895	1,234,440
退職給付に係る負債	106,914	113,045
その他	837,778	783,692
固定負債合計	2,207,588	2,131,178
負債合計	13,117,677	12,724,219

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,158,962	3,191,658
資本剰余金	6,404,905	6,437,601
利益剰余金	11,085,205	11,268,501
自己株式	△60,905	△61,295
株主資本合計	20,588,168	20,836,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,431,136	1,374,573
為替換算調整勘定	215,040	53,764
退職給付に係る調整累計額	8,365	8,008
その他の包括利益累計額合計	1,654,543	1,436,346
非支配株主持分	42,576	41,802
純資産合計	22,285,287	22,314,614
負債純資産合計	35,402,964	35,038,834



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,833,446	12,098,063
売上原価	9,185,610	8,855,020
売上総利益	3,647,836	3,243,043
販売費及び一般管理費		
運搬費	216,515	198,379
給料及び賞与	1,071,760	1,054,342
技術研究費	407,848	368,333
その他	959,790	920,233
販売費及び一般管理費合計	2,655,914	2,541,288
営業利益	991,922	701,754
営業外収益		
受取利息	4,526	1,656
受取配当金	63,307	70,517
その他	11,499	20,141
営業外収益合計	79,334	92,315
営業外費用		
支払利息	80,493	90,288
金融手数料	58,726	36,307
為替差損	63,089	28,636
その他	6,251	3,294
営業外費用合計	208,561	158,526
経常利益	862,695	635,544
特別利益		
固定資産売却益	9,747	1,751
特別利益合計	9,747	1,751
特別損失		
固定資産処分損	417	—
特別損失合計	417	—
税金等調整前四半期純利益	872,025	637,295
法人税等	388,795	240,343
四半期純利益	483,230	396,951
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,163	527
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,066	396,424

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	483,230	396,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,063	△56,563
為替換算調整勘定	△71,149	△162,577
退職給付に係る調整額	601	△356
その他の包括利益合計	△64,484	△219,497
四半期包括利益	418,745	177,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415,361	178,231
非支配株主に係る四半期包括利益	3,384	△776

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	872,025	637,295
減価償却費	268,288	280,369
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,119	4,562
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△54,302	1,649
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,421	7,987
受取利息及び受取配当金	△67,834	△72,174
支払利息	80,493	90,288
固定資産売却損益 (△は益)	△9,747	△1,751
固定資産処分損益 (△は益)	417	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,510,490	155,705
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,955,329	690,764
前払費用の増減額 (△は増加)	△62,043	△146,358
未収入金の増減額 (△は増加)	210,507	659,707
仕入債務の増減額 (△は減少)	△428,619	△321,857
未払費用の増減額 (△は減少)	△307,637	△33,352
その他	△265,178	△80,643
小計	794,832	1,872,192
利息及び配当金の受取額	70,923	79,988
利息の支払額	△89,565	△77,367
法人税等の支払額	△675,099	△50,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,091	1,824,650
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,880	△1
定期預金の払戻による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△194,564	△220,846
有形固定資産の売却による収入	13,133	3,826
無形固定資産の取得による支出	△41,524	△76,554
投資有価証券の売却による収入	—	27,500
貸付金の回収による収入	1,871	584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226,963	△265,390
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170,000	—
長期借入れによる収入	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△218,006	△56,498
社債の償還による支出	△700,000	—
自己株式の取得による支出	△1,380	△390
配当金の支払額	△255,053	△213,129
非支配株主への配当金の支払額	△4,427	—
その他	△101,800	△46,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,250,668	△266,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,732	△28,038
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,415,272	1,264,684
現金及び現金同等物の期首残高	11,404,134	4,210,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,988,861	5,475,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。